

陳 情 文 書 表

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第134号（4.3.14） 中学校給食センターの立地の見直しを求める陳情
陳情の要旨	1. 給食センター（兵庫・長田・北区エリア）の一極集中を見直し、複数分散配置を検討すること。 2. どうしても一極集中にせざるを得ない場合は、現候補地でない工場建設可能地を新たに選定すること。
陳情者の住所及び氏名	神戸市北区 米澤 和也
送付委員会	教育こども委員会

陳情者 神戸市北区
米澤 和也

電話

中学校給食センター立地の見直しに関する陳情

陳情趣旨

神戸市では現在、中学生への給食の提供が構想されています。その手段として、我々の居住する地区に、兵庫・長田・北区を対象とした大規模な給食センター（食品工場）が計画されています。給食の提供それ自体は素晴らしいことで、その趣旨には賛同するところです。しかし、一極集中を前提とした現在の計画には大きな問題があります。現代はリスク分散の時代です。一極集中式に替えて、我々は小規模センターの複数分散配置への見直しを提案します。一極集中の場合、総事業費をいくらか抑えられるとしても、それ以外では、添付資料に示す通りあらゆる点で分散型の方が優れていると考えます。

一極集中型の抱える主要な問題点は以下の通りです。

- 1 一極集中方式では、コロナや災害、食中毒による操業停止に対応できず、事業継続の面で脆弱である。
- 2 候補地は供給地域の北の外れに位置し、配送距離の面で不合理。「低炭素型まちづくりを推進」する神戸市の理念に反しており、また「温かい給食」を提供するという趣旨からかけ離れている。
- 3 候補地は住宅街からしかアクセスできず、火災時にも一方向からしか消火活動ができない上に、戸建て住宅に道路すら挟まず直接接しており、防災上も大きなリスクを抱えることになる。

これだけでも十分見直しに値すると思いますが、加えて、候補地が郊外の閑静な「第二種中高層住居専用地域」で、大工場の建設が禁止されている地区であることにもご配慮頂ければと存じます。工場が建たないきれいな環境、子どもたちが安心して遊べる安全な環境を求めてこの地に居を構えた住人が多く、住環境の悪化回避も重要です。「大きく手を入れずに予定規模の工場を建設できる市有地が他にない」ことを候補にしている理由ですが、分散式にすることにより、面積の問題は回避でき、土地の候補は飛躍的に増えます。配送しやすいエリアに建てるのが可能となり、2の低炭素および温かい給食の問題も解決します。

よって、以下の事項について陳情いたします。

陳情事項

- 1 給食センター（兵庫・長田・北区エリア）の一極集中を見直し、複数分散配置をご検討下さい。
- 2 どうしても一極集中にせざるを得ない場合は、現候補地でない工場建設可能地を新たに選定下さい。

一極集中方式と分散配置方式のメリットデメリット、スペース比較について添付資料に示しますので、併せてご参照下さい。なお2に関して、インフラ整備や長期放置による追加整備費用の節約のため候補から外した土地があると聞いています。仮に一極集中になる場合、そのような土地であれば地域の住環境を破壊することなく建設が可能なのではないでしょうか。